

栃木県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（令和2年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	さくら市	7,692,580	EPN 7,392,000	ポリ塩化ビフェニル類 (PCB) 228,000	チウラム (チラム) 25,300
2	真岡市	7,009,386	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエー テル (C:12-15及びその混合物) 6,983,600	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル エーテル 7,540	亜鉛の水溶性化合物 7,484
3	小山市	249,599	マンガン及びその化合物 199,160	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 20,480	ニッケル化合物 14,962
4	河内郡上 三川町	193,602	マンガン及びその化合物 150,800	亜鉛の水溶性化合物 31,350	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 5,760